

SuperH RISC engine C/C++コンパイラ Ver. 8 使用上のご注意

SuperH RISC engine C/C++コンパイラパッケージ (Ver. 8.0.00, Ver. 8.0.01) に含まれる最適化リンケージエディタに、以下の不具合があります。本バージョンをご使用の場合はご注意ください。

なお、本ページに記載されている不具合は、コンパイラパッケージ **V. 8.00 Release02** 以降では修正されています。製品をリビジョンアップしていただきますよう、お願いいたします。

S-Type/HEX フォーマットファイル出力時の空き領域出力不正

該当製品

製品型名	パッケージバージョン	最適化リンケージエディタ
P0700CAS8-MWR	8.0.00, 8.0.01	8.0.01, 8.0.02
P0700CAS8-SLR	8.0.00, 8.0.01	8.0.01, 8.0.02
P0700CAS8-H7R	8.0.00, 8.0.01	8.0.01, 8.0.02

現象

S-Type (もしくは HEX) フォーマットファイルを出力する場合に、命令やデータが存在しない空き領域に対して、“0” (アスキーコード: 0x30) を出力すべきところに NULL (アスキーコード: 0x00) が不当に出力されてしまう場合があります。

一部 ROM ライタでは、NULL は入力時にエラーになる可能性があります。

発生条件

次の条件を全て満たす時、発生します。

- (1) コンパイル (アセンブル) 時に、endian=little オプションを指定している。
- (2) リンク時に、form=styp (もしくは hexadecimal) オプションを指定している。
- (3) 複数の入力オブジェクトファイルに、同一セクションに割りつくコード (もしくはデータ) が分かれて存在している。
- (4) リンク時の境界調整により“0”が 3. のセクションに埋め込まれる。

回避策

以下の情報を修正してください。

- ・バイナリエディタを使用して、NULL 文字 (0x00) を “0” 文字 (0x30) へ書き換える。
- ・該当する行のチェックサムを再計算する。(ファイルフォーマットの仕様についてはコンパイラマニュアルの 18 章を参照)